

## 令和6年度 群馬県立女子大学 高大連携による公開講座一覧及び授業概要【前期】

曜日	時限	授業科目名	担当	授業概要
月	4	芸術の現場から（リレー講座）	藤沢	芸術分野で活躍する、また群馬にゆかりのあるアート関係者から、ホットな話題を自分の体験とともに提供していただきリレー講座。 美学美術史学科ウェブサイト <a href="https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/art/">https://www.gpwu.ac.jp/dep/lit/art/</a> →「芸術の現場から スケジュール」ページ
		韓国社会と文化	尹	本講義では、韓国および北朝鮮の社会と文化を理解するための全般的な知識を習得する。具体的には、韓国の歴史、政治、教育、若者、家族、北朝鮮の社会と文化、脱北者といったトピックを取り上げ、様々な事例を通じてその特徴について説明する。また、韓国の社会と文化を参照点として日本の社会と文化を捉え直し、さらには異文化社会を理解する視角を身につけることを目指す。
		古文読解法	佐藤(洋)	源氏物語、紫式部日記、枕草子、百人一首をとおして、古典文学作品を読むために必要な語法や文法（とくに助動詞）と文化的な側面について学ぶ。
		国際法	鈴木(悠)	国際法の基礎的な知識とともに、外交、領土問題、国際組織、人権、犯罪、経済、環境、安全保障、武力紛争などの様々な分野で、国際法がどのような役割を担い、どのように機能しているのか、ということとを学びます。加えて、国際法と現代社会の諸問題との関連についても理解を深めます。
火	4	グローバル・シチズンシップ～大使リレー講座～	鈴木(悠)	この講義では、SDGs(Sustainable Development Goals)に関連して活動されている外部講師による知見や経験についての講演を聴きます。そして、グローバル・シチズンとしての認識を育むとともに、持続可能な社会を実現するために、現代社会における課題に対して問題意識を持ち、理解を深めます。受講生には、講演の内容をもとに、自身の考えや疑問を発言する機会があります。また、外部講師による講演の授業では毎回課題の提出が求められます。
		比較文学	市川(浩昭)	比較文学は、民族・言語・文化・宗教・地域そして国境などの領域を異にする文学や文化現象が、その境界を越えて関連し、異言語・異文化・異民族の世界に独自の文学や文化現象を生み出した事象の中に普遍的な実態とその価値を探る、文学文化研究の一分野である。この講座では、教養教育の立場から文学という文化現象が、異言語・異文化・異民族間に共有された事実から何を考えることができ、また何を考えなければならないのか、という比較研究がもたらす問題認識を醸成していきたい。そして比較研究の本来の目的である境界を越えた普遍的な価値の構築という、その意義を伝えたい。
		アフリカの文化と社会	加藤(珠)	アフリカの自然環境や文化、宗教、食文化、食と農、ジェンダー、貧困と格差、人口増加による可能性と問題、紛争、民主化、開発と支援などについて概観し、アフリカの文化と社会の現状、私たちとの関わりを学ぶ。
木	4	経営学Ⅰ	千	企業経営活動の仕組み、企業の形態と株式上場、企業の経営戦略、経営の国際化などを学ぶことによって、現代社会の企業の経営活動に対する理解を深める。
		日本美術に親しむ1	三宅	日本美術の様々な分野について基礎的な内容から学んでいく。例えば絵画なら、巻子（絵巻）や画帖、掛幅、屏風など、画面形式ごとにその特質や展開、多様な様相を学び、日本美術の基礎的な知識を身につけ、作品や分野の魅力を味わっていく。
		クリティカル・シンキング	細川	この授業では、主に戸田山和久『思考の教室——じょうずに考えるレッスン』（2020）の第1部「基礎編」に従って、自分と他者の議論の「説得力」ではなく「信頼性」を高め合うための、クリティカル・シンキングの理念を理解します。また、そのための基本的な原理と技術を習得し、実践します。
		国際安全保障論	野口	この授業は、国際安全保障のさまざまな側面をテキストに従って学習するものです。
		データベース・プログラミング入門	中村(賢)	現在はデジタル技術がなくてはならない世界になり、国際社会を生きる学生にとってデジタル技術は必須です。しかしながら、日本社会はデジタル技術に後れを取っていることも事実です。古い技術の非効率さがどこにあるのかを考えるためにも、本授業ではインターネット上で用いられる新しいプログラミングの基礎とセキュリティ概念について学びます。2022年に政府・自治体は、行政データのクラウド化を進めており、クラウドベースの学習をします。実際に課題を行いながら、クラウド上で動作するWebアプリの構築を目指します。
金	4	マスコミ論	河島	日常生活で接する様々なマスメディア（新聞、放送、出版、広告、映画など）について、その概要と産業としての特徴を学ぶ。記者クラブ制度、誤報と虚報、プライバシーの侵害などマスコミの倫理問題も扱う。
		ヨーロッパの文化と社会	小林(弘)	「ヨーロッパ」という言葉を耳にしたリ口にするのは、よくあると思います。しかし、私達が「ヨーロッパ」と呼んでいるものは、実際、どのような姿をしているのでしょうか。この授業ではぼんやりとしたイメージしかないかもしれない「ヨーロッパ」の実態を、様々な面から掘り下げていきます。
		ミクロ経済学	原谷	ミクロ経済学の基本的な知識と、それを用いて現実の経済問題を考える方法を学びます。
		Speech Communication	小笠原	We share and exchange our thoughts and information through the verbal and nonverbal linguistic symbols, and speech is the main mode of communication for humans. For a better communication in English, it is important for students to build their confidence in interpersonal communications. This course will help students to develop and improve their skills of pronunciation, group discussions, and public presentations by providing the fundamental concepts of phonetics and phonology and sufficient practices of English pronunciation.
	5	世界の宗教	片倉	世界の宗教のうち、世界総人口に占める信徒の割合を現在の4分の1から、2050年には3分の1まで増やすであろうともいわれているイスラム教について学びます。その信仰内容、歴史、現代社会における展開など、さまざまなテーマから講義の各回1つずつを取り上げ、ごく基本的な知識から解説します。さまざまな宗教をまんべんなく学ぶことを目的とした授業ではありませんので、履修の際には注意してください。
		ヨーロッパの国際関係	小林(弘)	現在EUとして地域統合を進めているヨーロッパも、数々の戦争や危機を経験してきた。この授業では数々の困難を乗り越え現在まで辿り着いたヨーロッパの国際関係を、歴史的に見ていく。特に欧州統合の流れに注目する。

※授業の詳細は、本学HP (<https://www.gpwu.ac.jp/>) で令和5年度版シラバスを参照いただくか、個別にお問い合わせください。  
 なお、内容については変更になる場合があります。

令和6年度 群馬県立女子大学 高大連携による公開講座一覧及び授業概要【後期】

曜日	時限	授業科目名	担当教員	授業概要
火	4	グローバル・シチズンシップ～大使リレー講座～	鈴木(悠)	(前期と同様)
		プロジェクト・プランニング	兼本	商品開発プロジェクトの模擬体験を通して、商品開発の考え方を学ぶ。
	5	メディアと文化2	木村(智)	日本におけるアニメーションの歴史を産業的観点から論じることで、それを取り巻く諸メディア産業の歴史と構造を実証的に把握する。
水	4	文化人類学2	飯塚	現代のグローバル化の波は、私たちの身近な地域コミュニティにも、民族、宗教、国籍、ジェンダー、価値観、ライフスタイルなどが異なる人びとがともに暮らす多文化・多民族化をもたらしている。私たちはこうした多様な文化的背景をもつ人びとをいかに理解し、彼らと共に生きるべきなのか。本講義では、異なる社会の文化や慣習の理解をつうじて、人間について理解することを目指す文化人類学の理論を学ぶ。同時に、こうした理論が、今の自分自身が生きる世界といかに関連しているのか、さまざまな民族誌的資料をとおして考える。
		中東・アフリカの国際関係	荒井	中東・アフリカの国際関係の特徴について、歴史的経緯を踏まえながら、アイデンティティの問題、資源と経済の影響、内戦といったテーマを扱う。
		国際政治史	八木	主権国家体制（ウェストファリア体制）から現代までの国際政治史を概観し、国家間の対立と協調の過程を理解する。併せて、国際政治史上のトピックを把握する。
木	4	社会の中の日本語	富岡	我々は、様々な「社会」の中で、多くの人と関わりながら、「社会生活」を送っています。この講義では、様々な「社会」や「社会生活」の中で使用される様々な日本語を観察したり考えたりしていくことで、日本語へのより幅広い関心を喚起するとともに、間接的に、我々がことばの中で生きていくということを考える時間になります。
		現代社会と経済	于	この講義では、現代社会のさまざまな経済活動を理解するために、経済学や経営学の基本的な知識と考え方を学び、また、身近な経済トピックスや企業経営の取り組みなどを通じて、現代社会の経済活動に対する理解を深める。
		Topics in Communication	梅田	In this course, we explore various topics related to interpersonal communication and group communication. This course not only introduces students to the basic concepts of human communication but also emphasizes the application of these concepts in real-life situations.
		国際経済学	原谷	国際経済学の基本的な知識と、それを用いて国際経済を考える方法を学びます。
金	4	Cross-cultural Pragmatics	吉村	This is a course on cross-cultural pragmatics. Pragmatics is the study of language use in context, where context includes linguistic and sociocultural surroundings. This course introduces central concepts in cross-cultural pragmatics (speech acts, politeness theory), and discusses how to compare and contrast certain language use in different languages and cultures.
		人間行動と情報	甲村	人や集団の行動や思考について、講義を中心に学際的に学びます。
	5	哲学A	細川	これまでの標準的な哲学史を、「情報」の観点からとらえなおし、「情報論としての哲学史」として再解釈・再構成することを試みます。今年度は主にハイデガーの哲学思想を情報論的に再解釈し再構成することを試みる予定です。

※授業の詳細は、本学HP (<https://www.gpwu.ac.jp/>) で令和5年度版シラバスを参照いただくか、個別にお問い合わせください。  
 なお、内容については変更になる場合があります。